

まちづくり交付金 事後評価シート
神明地区

平成21年12月

福井県鯖江市

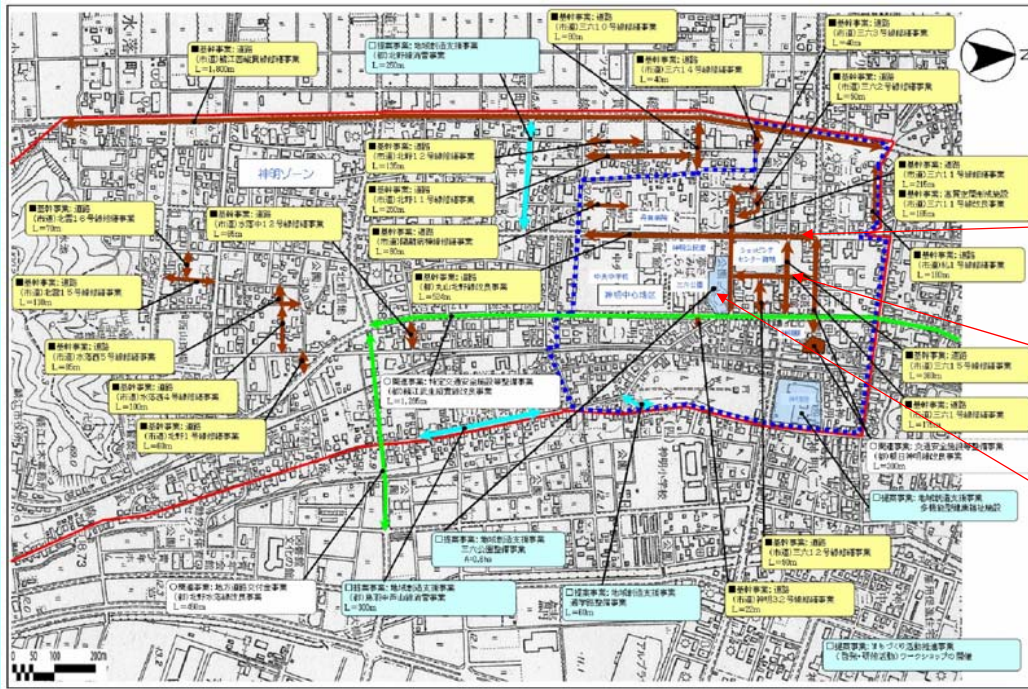
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	鯖江市		地区名	神明地区			面積	270ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	2,115百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(丸山北野線)									
			提案事業	まちづくり活動推進事業(住民参加によるまちづくり活動推進)									
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	高質空間形成施設(神明駅前広場(都)朝日神明線)				県が施工するため、関連事業へ移行			影響なし		
	新たに追加した事業		提案事業	地域創造支援事業(ショッピングセンター建築物の取壊し)				商業施設としての跡地利用の見込みがなくなったため			目標1の変更、指標1の変更		
			基幹事業	道路(三六1号線他23路線、鳥羽中芦山線)、公園(西山公園)、地域生活基盤施設(桜町広場、桜町駐車場、西山公園)、高質空間形成施設(三六11号線、鳥羽中芦山線)、高次都市施設(鯖江市民活動交流センター)				人にやさしい道路整備の追加、観光拠点および観光ルート整備の追加、地区住民の交流の場の整備の追加			目標4の追加、指標2・3の変更、指標4の追加		
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	地区内人口減少の抑止	人	1,070	H16	1,070	H21		1,092	○	あり なし	道路整備などが誘引となり、ショッピングセンター跡地などに住宅地開発が見られた。	平成22年9月
	指標2	交通事故の件数	件/年	425	H16	380	H21		268	○	あり なし	人にやさしい道路整備の推進により、安全な歩行環境を確保できた。	平成23年4月
	指標3	地域コミュニティ活動の頻度	回/年	3	H16	8	H21		8	○	あり なし	本事業が契機となって地域イベントの開催など、地域住民の活力が増進した。	平成23年3月
	指標4	西山公園の利用者数	人/年	400,000	H16	450,000	H21		669,000	○	あり なし	公園の改修及び人にやさしい歩行環境整備による回遊性の向上による利便性の向上	平成23年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	①人が歩きやすい道づくりの推進と公園等の利便性を高めたことにより、避難路及び一時避難場所の拡充が行われたことになり、都市の防災力を高めることができた。 ②街路整備により、沿道住民、商店街等の街づくりや環境美化意識が高揚し、プランターの草花植栽などの自主的活動が生まれた。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				まちづくり協議会等において意見収集する				
	住民参加プロセス	まちづくり協議会との意見交換			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				まちづくり協議会が地区住民と行政との間に立ち、住民の視点で決め細やかな情報の提供、意見の収集に努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	地元の自治会やまちづくり協議会が主体となり、本事業で整備された施設を活用を図る。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 本事業が契機となって設立されたまちづくり協議会の組織を、地区イベントの実行委員会などに継承することで、地区コミュニティの活力維持に努める。				

様式2-2 地区の概要 その1

神明地区(福井県鯖江市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前値	目標値	目標値	評価値	評価値
大目標：地域資源を活かした快適な市街地環境づくり 目標1：ショッピングセンター跡地の土地利用を促進して、まちの活力の推進を図る。 目標2：安全で安心な人にやさしい道路整備を行う。 目標3：住民参加による、元気あふれる、住みやすいまちづくりの検討、推進を図る。 目標4：中心市街地の幹線道路を整備して、市民や観光客にやさしい、安心して歩けるまちづくりの推進を図る。	地区内人口減少の抑止	単位：人	1,070	H16	1,070	H21	1,092	H21
	交通事故の件数	単位：件/年	425	H16	380	H21	268	H21
	地域コミュニティ活動の頻度	単位：回/年	3	H16	8	H21	8	H21
	西山公園の利用者数	単位：人/年	400,000	H16	450,000	H21	669,000	H21



■基幹事業 道路((都)丸山北野線改良事業)



■基幹事業 道路((市道)三六1号線他23路線)



■提案事業 公園整備(三六公園改修)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧の住民間、多様な世代間、地域住民と来街者との交流などを一層活性化させる必要がある。 ・地域資源や地域のコミュニティを活かして、中心市街地の活力を増進していくための方策について検討する必要がある。 ・改善された歩行空間や電車のある地域環境を活かし、多様な人が回遊することによる中心市街地の活性化や低炭素社会構築につなげていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道における車椅子や視覚障害者の移動環境を適正に確保するためのマナー向上や、利用者の視点に立った各種公共交通機関との連携による利便性向上を図る。 ・新旧住民や、多様な世代、地域住民と来街者の交流を促進するソフト事業を、地域住民を主体として積極的に企画・実施し、行政はその側面支援を行っていく。 ・三六団地や北国街道、西山公園などの地域資源について、地域住民が誇りを持って暮らし、地域外からも魅力を知ることができるよう、積極的に情報発信やソフト対策の検討を行う。 ・人が通過するだけでなく滞留するまちづくり、低炭素型まちづくりを目指し、地元と市が協働で商店街の魅力アップや空き店舗の活用方法などソフト対策や電車などを利用した回遊性のあるまちづくりを目指す。

様式2-2 地区の概要 その2

神明地区（福井県鯖江市）まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標：地域資源を活かした快適な市街地環境づくり 目標1：ショッピングセンター跡地の土地利用を促進して、まちの活力の推進を図る。 目標2：安全で安心な人にやさしい道路整備を行う。 目標3：住民参加による、元気あふれる、住みやすいまちづくりの検討、推進を図る。 目標4：中心市街地の幹線道路を整備して、市民や観光客にやさしい、安心して歩けるまちづくりの推進を図る。	地区内人口減少の抑止	単位：人	1,070 H16	1,070 H21	1,092 H21
	交通事故の件数	単位：件／年	425 H16	380 H21	268 H21
	地域コミュニティ活動の頻度	単位：回／年	3 H16	8 H21	8 H21
	西山公園の利用者数	単位：人／年	400,000 H16	450,000 H21	669,000 H21



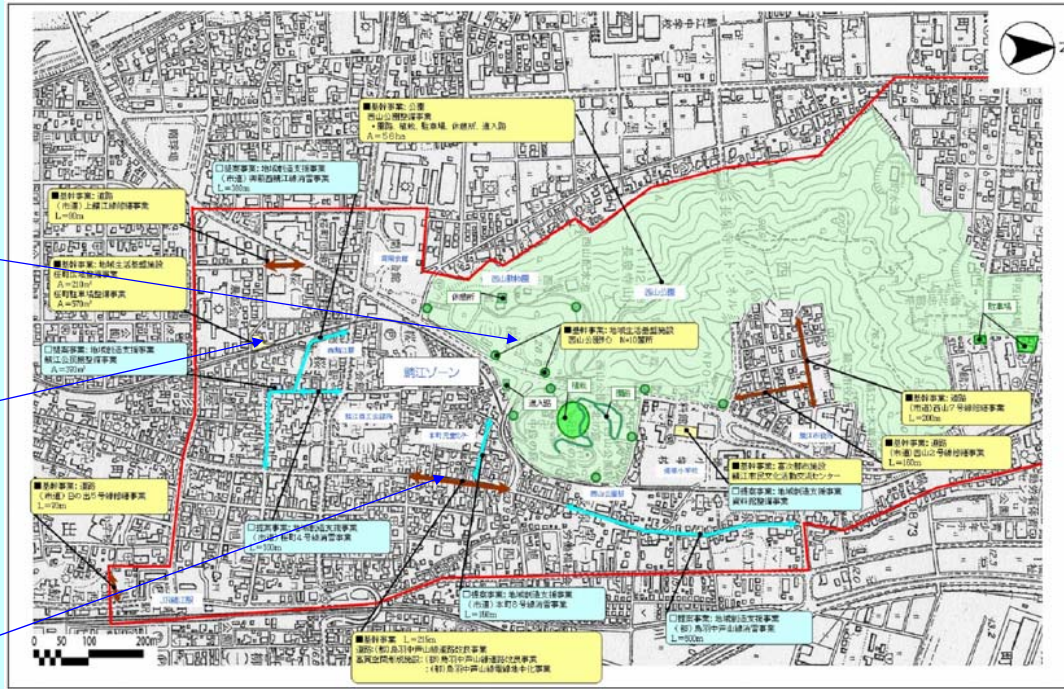
■基幹事業 公園(西山公園整備事業)



■基幹事業 地域生活基盤施設
(桜町広場整備事業・桜町駐車場整備事業)



■基幹事業 道路(都)鳥羽中芦山線道路改良事業)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧の住民間、多様な世代間、地域住民と来街者との交流などを一層充実化させる必要がある。 ・地域資源や地域のコミュニティを活かして、中心市街地の活力を増進していくための方策について検討する必要がある。 ・改善された歩行空間や電車のある地域環境を活かし、多様な人が回遊することによる中心市街地の活性化や低炭素社会構築につなげていく必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道における車椅子や視覚障害者の移動環境を適正に確保するためのマナー向上や、利用者の視点に立った各種公共交通機関との連携による利便性向上を図る。 ・新旧住民や、多様な世代、地域住民と来街者の交流を促進するソフト事業を、地域住民を主体として積極的に企画・実施し、行政はその側面支援を行っていく。 ・三六連隊や北国街道、西山公園などの地域資源について、地域住民が誇りを持って暮らし、地域外からも魅力を知ることができるよう、積極的に情報発信やソフト対策の検討を行う。 ・人が通過するだけでなく滞留するまちづくり、低炭素型まちづくりを目指し、地元と市が協働で商店街の魅力アップや空き店舗の活用方法などソフト対策や電車などを利用した回遊性のあるまちづくりを目指す。